

[2] 人材育成事業の試行

協議会構成員、随行者等を対象に図上演習の要素を取り入れたワークショップ形式(例:発災により災害廃棄物が発生している架空の自治体を想定し状況を付与、その対処をグループワークで行う)の人材育成事業を、協議会(2回とも)に合わせて実施した。

ワークショップ(第1回)		ワークショップ(第2回)	
開催日時	令和2年11月12日(木) 13:00~16:00	開催日時	令和3年2月24日(水) 13:00~16:00
開催場所	かでの2・7 710会議室	開催場所	かでの2・7 1060会議室
プログラム	<ol style="list-style-type: none">1. 開会挨拶 (北海道地方環境事務所)2. 座学 「災害発生時における災害廃棄物の処理について」 (北海道大学大学院工学研究院 東條准教授)3. 自己紹介等4. グループ討議 テーマ① 仮置場設置に必要なこと5. グループ討議 テーマ② 仮置場設置の課題と対策6. 各班発表7. 仮置場の設置について8. アンケート	プログラム	<ol style="list-style-type: none">1. 開会挨拶 (北海道地方環境事務所)2. 座学 「災害廃棄物処理の概要」 (応用地質株式会社)3. 自己紹介等4. 図上演習① 仮置場の選定5. 図上演習② 仮置場のレイアウト検討6. 図上演習③ 処理フローの検討7. 意見交換 平時の備え8. 各班発表9. アンケート
参加者	計10名(3~4名/班 計3班)	参加者	計8名(4名/班 計2班)

開催時の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策:

検温、手指の消毒、極力少人数の班構成、間隔をあけた配席、マスク着用、グループ討議時のフェイスシールド着用、定期的な換気

[2] 人材育成事業の試行

ワークショップ(第1回)の状況

座学

「災害発生時における災害廃棄物の処理について」
(北海道大学大学院工学研究院 東條准教授)

ワークショップ

テーマ① 仮置場設置に必要なこと

テーマ② 仮置場設置の課題と対策



[2] 人材育成事業の試行

ワークショップ(第1回)の状況

テーマ② 仮置場設置の課題と対策

	課題	対策
【場所・ルート】	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地の具体的な選定 ・アクセスがしやすい場所の確保 ・ルート確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能と思われる場所のリストアップ ・市有地から適切な場所をピックアップ ・候補地の調整 ・混雑を避けるためのアクセスルートの明示
【困難者】	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入困難への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理困難者の把握(サポート収集) ・高齢者の名簿作成→自治会等との連携
【対象ごみ】	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ対象ごみの選定 ・処理困難物の受入れ先案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理困難物の処理業者との協定
【体制】	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場の運営人員確保 ・仮置場を管理する人 ・仮置場の責任者 ・職員体制の確保 ・各部署との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力可能部局との調整 ・民間事業者・地域団体との協議 ・他部局を交えた研修・訓練 ・災害時の職員体制の明文化
【周知】	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への(事前)周知 ・発災時の周知方法 ・緊急時の周知方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前周知の活用 ・周知方法を複数用意しておく ・SNSの活用 ・報道機関への協力要請 ・自治会を通じた周知ルート
【物品】	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の調達先想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要資材を用意できそうな業者を見つけておく。 ・事前の物品準備→予算化、置き場所の確保

[2] 人材育成事業の試行

ワークショップ(第2回)の状況

座学

「災害廃棄物処理の概要」(応用地質株式会社)

ワークショップ

図上演習① 仮置場の選定

図上演習② 仮置場のレイアウト検討

図上演習③ 処理フローの検討



[2] 人材育成事業の試行

ワークショップ(第2回)の状況

図上演習③ 処理フローの検討

災害廃棄物処理対応をする上で平時に備えておくこと	
仮置場の選定	<ul style="list-style-type: none">・仮置場候補地の選定とその状況把握・具体的な仮置場の選定・配置
住民広報	<ul style="list-style-type: none">・仮置場等の情報を市民に周知する方法の確立・市民に情報を伝える方法及び内容
災害時の職員体制など	<ul style="list-style-type: none">・災害時における人員配置と確保について・具体的な庁内(課内)での役割分担
協定など	<ul style="list-style-type: none">・民間事業者との連携 協定締結
廃棄物の分別など 具体的な取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none">・広域処理している自治体間での具体的な取り決め(平時の協定しかない)・災害補助対象以外物の取り扱い・どこまで受け入れるか 解体(全壊、半壊、一部損壊)、焼失ごみ、片付けごみ、生活ごみ、一廃・産廃・アスベスト、PCB廃棄物の判別方法
タイムスケジュール	<ul style="list-style-type: none">・発災時のタイムラインの整理・業務のタイムスケジュール(おおまかに)発災時

[2] 人材育成事業の試行

参加者へのアンケートの結果、本事業により「ワークショップを通じて、想定される課題や対策を具体的にイメージできた」、「今後の災害廃棄物処理対策を促進する上で、役立つと考える」との回答が多く得られた。

